

新ガッツだ おまかせくん!

小学校編

作 ロナウジーニョ太郎

No.47



くにさきの文化財

国指定重要無形民俗文化財 「修正鬼会」

無形の民俗文化財は、歌舞伎などプロの芸能としてではなく、地域の民衆によって守り伝えられた祭りや芸能を指し、世界に先駆け日本の文化財保護法で昭和50年から選定されるようになりました。修正鬼会は、「芸能の発生または成立をしめしている」とされ、法制化の2年後、大分県最初の重要無形民俗文化財として全国的にも早く、昭和52年に国の指定を受けました。もともと鬼(仮面劇)は、祖先を模した仮面をかぶった人を意味し、人々に幸せをもたらすために、邪をなすものを追い払う存在であったといわれます。「仏や神が姿を変えた」・「靈魂を表現した」と伝えられる荒鬼や鈴鬼は、幸福を



もたらす古来の鬼の姿を今日に伝え、その舞は芸能の発生や成立を示す古い要素を残しています。成仏寺の鬼たちは、午前零時ごろ、クライマックスに登場します。

成仏寺「修正鬼会」(2月18日(木))

- 午後3時00分～「昼の勤行」(読経)
(午後5時30分から「おとき」があり、関係者の夕食となります。)
 - 午後7時00分～「垢離取り」(川で水垢離をとる)
 - 午後8時00分～「盃の義」
 - 午後8時30分～「タイアゲ」(大松明をあげる)
 - 午後9時30分～「夜の勤行」
 - 午後11時00分～「立役」(香水の舞など芸能的な要素が濃い)
(立役の最後に鈴鬼が出て舞い、荒鬼を招き出します。)
 - 午前0時00分～「鬼走り」(荒鬼が登場)
- ◎参拝者への加持祈祷が終わると鬼たちは村へ出て行きます。
※時間は予定です。当日の進行状況により前後します。
※成仏寺の近くには食事のできる場所はありません。

問い合わせ 国東市歴史体験学習館 ☎0978-72-2677

国東中学校へ車いすを寄贈 大分県商工会女性部連合会

1月18日(月)、大分県商工会女性部連合会(秦勝子会長)から車いす1台が国東中学校(手嶋英明校長)に寄贈されました。同会では社会福祉活動の一環として、平成9年度から女性部員の募金で、福祉施設や教育機関へ車いすを贈っています。贈呈式では、国東町商工会の西田文代女性部長から車いすが渡され、手嶋校長と清水識貴生徒会長がお礼の言葉を述べました。

